

第 3 回 定 例 会

市 長 行 政 報 告

令 和 元 年 9 月

北 広 島 市

令和元年第3回定例会の開会にあたり、行政報告を申し上げます。

1 平成30年北海道胆振東部地震について

まず始めに、平成30年北海道胆振東部地震についてではありますが、昨年の地震発生から、今月6日で一年が経過いたしました。

改めまして、地震により被災されました皆様には心からお見舞いを申し上げますとともに、多くの団体、個人、企業から、寄附金や義援金など、温かいご支援とご協力をいただいておりますことに、心から感謝とお礼を申し上げます。

寄附金につきましては、災害復興に活用させていただくとともに、義援金につきましては、8月末現在、住家に被害のありました530世帯に対して合計112,850,000円の交付を終えているところであり、寄せられた義援金の全ての配分を終えるまで、引き続き追加交付等を行ってまいります。

みなし仮設住宅等につきましては、24世帯49名の方々が避難生活を送られておりましたが、今月より1世帯3名が退去され、新たな生活をスタートされました。

市が行う被災家屋の撤去につきましては、申請期間を10月末まで延長したところではありますが、これまでに19件の申請があり、その内15件の解体を終了し、現在4件の解体作業を行っているところでもあります。

大曲並木地区の復旧・復興状況についてではありますが、地区全体の安全性を確保する復旧対策工事の実施を目指し、関係住民との合意形成に向けた個別協議を進めているところでもあります。

また、防災教育・防災訓練につきましては、震災からこれまでににおいて、地域防災力の向上と防災意識の高揚を目的に、市民を対象とした出前講座を30回実施するとともに、「避難所開設・運営訓練」や「水防訓練」

を行い、市職員の災害対応力の向上を図っております。

特に、9月7日に「西の里ファミリー体育館」及び「広葉交流センターいこーよ」の2か所で同時に実施しました避難所開設・運営訓練につきましては、市職員と町内会・自治会、地域防災マスター、日本赤十字奉仕団北広島支部などの方と協働して、避難勧告発令から避難所の開設・運営までの一連の流れを経験するとともに、炊き出しにより用意された食事を他の避難所に輸送する、より実践に即した訓練を行ったところであります。

今後につきましても、引き続き被災された方々の生活の再建をはじめ、被災地の復興と本市の防災力の強化に向け、全力を挙げて取り組んでまいります。

2 幼児教育・保育無償化について

次に、幼児教育・保育無償化についてであります。子育てや教育にかかる費用負担の軽減を図る少子化対策の観点などから、本年10月から幼児教育・保育の無償化が実施されます。

無償化につきましては、3歳から5歳までのすべての子どもと0歳から2歳までの市町村民税非課税世帯の子どもを対象に、幼稚園、保育園及び認定こども園などの利用料が無償となるものであります。

本市におきましては、無償化に向け市内幼児教育・保育施設への説明会を行うとともに、保護者への案内文書の配布や説明会の開催、市広報紙や市ホームページへの掲載など周知に努めてきたところであります。

なお、本定例会において、関係条例の改正及び必要な経費の補正予算を提案させていただいたところであります。

3 保育施設の防犯対策について

次に、保育施設の防犯対策についてであります。各施設におきましては、防犯設備の整備や防犯訓練の実施のほか、関係機関との連携により防犯対策に努めているところであります。

また、防犯カメラにつきましては、公立保育園3か所を含む9か所の保育施設に設置しているところであります。このたびさらに私立保育施設3か所に設置することとなりました。

なお、防犯カメラの設置のため、本定例会において本事業に必要な経費の補正予算を提案させていただいたところであります。

今後につきましても、子どもたちの安全確保に向けた取組を進めてまいります。

4 北海道中央バス株式会社が運行する北広島団地線の再編について

次に、北海道中央バス株式会社が運行する北広島団地線の再編についてであります。7月8日の地域公共交通活性化協議会において、再編内容が決定されたことから、本年10月1日に「さんぽまち・東部線」として路線再編することにしたところであります。

「さんぽまち・東部線」につきましては、循環路線の導入や、210円の均一運賃が特徴であり、新規に運行する経路には商業施設や交流施設なども含むことから、利便性の高い路線となったところであります。多くの皆様のご利用を期待しているところであります。

なお、10月1日にエルフィンパークにおいて、「さんぽまち・東部線」の出発式を開催する予定としているところであります。

5 JR北広島駅西口周辺地区における市有地等の開発に係るサウンディング型市場調査について

次に、JR北広島駅西口周辺地区における市有地等の開発に係るサウンディング型市場調査についてであります。駅西口における賑わいの創出や魅力ある顔づくりを進めるため、土地利用の市場性等の把握を目的に、8月下旬に民間事業者から広く意見や提案を求めるマーケットサウンディング調査を実施したところであります。

調査には、5社にご参加いただき、駅西口のポテンシャルや、各市有地の事業可能性等について、意見や提案があったところであります。

今後につきましては、調査結果を踏まえ、駅西口の土地利用方法等についての検討を進めてまいります。

6 プレミアム付商品券発行事業について

次に、プレミアム付商品券発行事業についてであります。対象者につきましては、住民税非課税者と子育て世帯で約1万1千人と推計しており、申請手続きが必要な住民税非課税者につきましては、8月初めに申請のご案内をお送りしたところであります。

また、市ホームページへの掲載をはじめ、町内会・自治会や関係機関などを通じて制度の周知に努めているところであります。

今後につきましては、9月末頃に商品券購入引換券を対象者へ郵送し、10月1日から1月31日まで、市内の郵便局8か所で商品券を販売することとしております。

なお、商品券の使用につきましては、市内の登録事業所で10月1日から2月29日まで使用できることとしているところであります。

7 北海道日本ハムファイターズ・ボールパーク構想の推進について

次に、北海道日本ハムファイターズ・ボールパーク構想の推進についてありますが、7月9日に、国や北海道、圏域の14自治体、民間企業など29団体で構成する「オール北海道ボールパーク連携協議会」が発足したところでもあります。

本協議会では、ボールパークを活用した連携方策の調査や研究などのほか、交通や食、観光などテーマ別の分科会を設置するなど、広域での連携した取組を進めてまいります。

7月27日には、ボールパーク建設予定地内において「ファミリーイベント」を開催し、多くの子どもたちやご家族の方にご参加をいただいたところでもあります。

また、ボールパーク構想推進に係る海外視察として、8月3日から11日まで、企画財政部ボールパーク推進室の4名が、アメリカ合衆国政府の招聘プログラムである「インターナショナル・ビジター・リーダーシップ・プログラム」に参加し、本場アメリカのボールパーク事情について、行政側の視点から様々な取組事例や、スタジアムなどの視察を行い、情報収集を行ってきたところでもあります。

交通アクセス等の整備についてありますが、市道整備につきましても、現在、測量や実施設計を進めているところでもあります。

また、新設アクセス道路等に係る用地取得のため、本定例会において本事業に必要な経費の補正予算を提案させていただいたところでもあります。

今後につきましても、2023年開業に向け、各種整備を進めるほか、議会の皆様をはじめ、市民の皆様やボールパーク推進期成会とともに、さらに機運を高められるよう、引き続き球団や関係機関との協議を進めてまいります。

8 まちの賑わいと交流に係るイベントについて

次に、まちの賑わいと交流に係るイベントについてであります。この夏も、「北広島ふるさと祭り」を始め、「北の酒まつり in きたひろしま」、「J Rヘルシーウォーキング」、「キタヒロケット」、「北海道meijiカップ」等が開催されたほか、各地区においても夏まつり等が開催されたところでもあります。

なお、市と北広島市観光協会では、8月30日までのイベント開催が多い期間に、J R北広島駅東口に観光案内所を試行したところであり、イベント会場の案内や地場製品の紹介などにより、多くの方の利用があったところでもあります。

これらのイベントを通じて、まちのP Rや賑わいの創出につながったものと考えております。

9 農作物の生育状況について

次に、農作物の生育状況についてであります。石狩農業改良普及センター発表による8月15日現在の状況は、4月、5月の降水量が平年より少なかったものの6月には平年を上回る雨量があり、また、平均気温、日照時間ともに平年値を超えていることから、各作物の生育は順調に推移しているところでもあります。

なお、本市におきましても、8月8日、市内農業関係機関合同による作況調査を実施し、生育状況を確認したところでもあります。

10 北海道人ブラジル移住100周年及び 北海道人パラグアイ移住80周年の記念訪問について

次に、北海道人ブラジル移住100周年及びパラグアイ移住80周年の記念訪問についてであります。8月19日から10日間、北海道市長会を代表して、北海道、北海道議会議員、北海道町村会、交流団体等からなる派遣団員でブラジル・サンパウロ市及びパラグアイ・アスンシオン市を訪問し、記念式典や祝賀会等に参加してまいりました。

当時、広島村からは両都市に、11世帯25名が移住されており、会場にお越しになっていた2名の方々と当市の状況等について、また、他の道内出身者の方々とは歴史や文化、開拓当時の状況について懇談してまいりました。

この他、パラグアイのイグアス市にある日本語学校への訪問や、開拓先没者慰霊碑、日本館、日本移民資料館等を視察し、移民の歴史や文化についても学ぶ機会となったところであります。

1 1 平成31年4月から令和元年6月までにおける寄附について

次に、平成31年4月から令和元年6月までにおける寄附についてですが、現金による寄附につきましては個人・団体などから6件、6,363,000円、物品の寄附につきましては個人から掃除機の寄附1件、土地の寄附につきましては4件となっているところであります。

「ふるさと納税」につきましては、4月から6月までの3か月間で、384件、6,050,000円の寄附をいただいているところであります。

ご寄附をいただきました皆様に心から感謝を申し上げるとともに、本市のまちづくりのため、大切に活用させていただきたいと考えております。

以上申し上げ、行政報告といたします。